

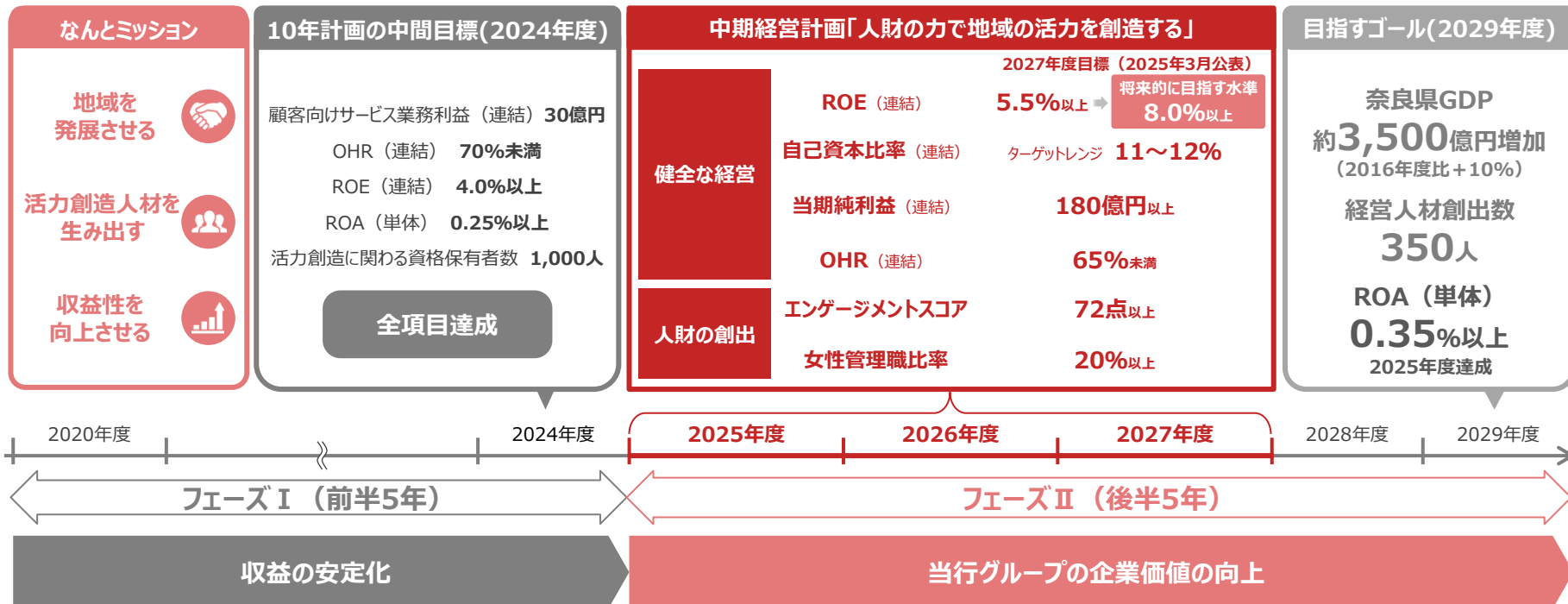
中期経営計画の計数目標見直しについて

中期経営計画（2025.4～2028.3）
人財の力で地域の活力を創造する
「なんとミッションと10年後に目指すゴール」フェーズⅡ

中期経営計画の概要

- ◆ 当行グループでは2025年度から、フェーズⅠでの収益の安定化を礎に当行グループの企業価値を向上させる3年間と位置付け、中期経営計画「人財の力で地域の活力を創造する」に取り組んでいる

経営計画「なんとミッションと10年後に目指すゴール」



新たな計数目標

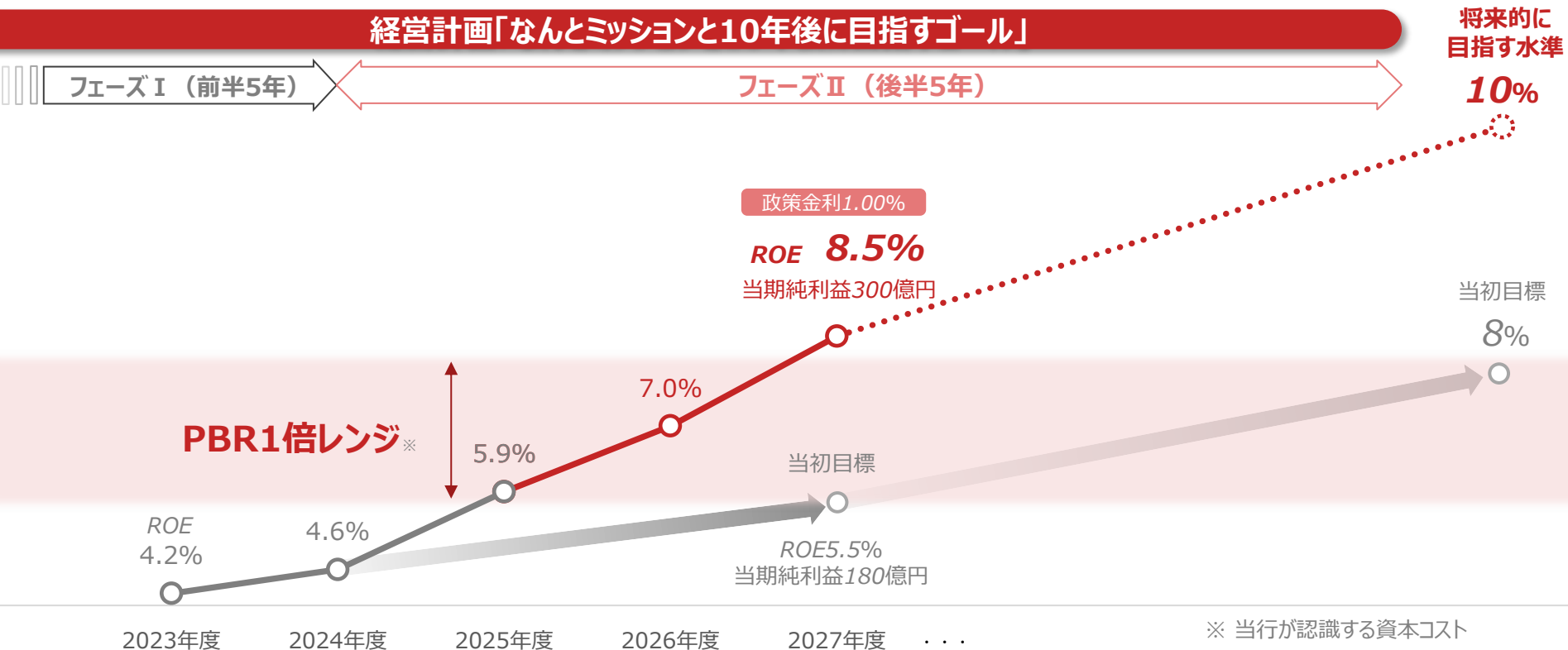
- ◆ 本業収益が順調に推移していることに加え、当初計画に織り込んでいなかった政策金利の引き上げに伴う影響等を勘案し、計数目標の見直しを実施する

計数目標

		2025年度 (実績)	2026年度 計画	2027年度 目標	(当初目標)	将来的に 目指す水準
健全な経営	ROE (連結)	5.9%	7.0%以上	8.5%以上	5.5%以上	10%以上
	自己資本比率 (連結)	12.8%	11%~12%	11%~12%	ターゲットレンジ 11%~12%	—
	当期純利益 (連結)	170億円	220億円	300億円以上	180億円以上	—
	OHR (連結)	64.2%	60%未満	55%未満	65%未満	—
人財の創出	エンゲージメントスコア	73点	—	75点以上	72点以上	—
	女性管理職比率	16.4%	—	20%以上	20%以上	—

資本コストを上回るROEの実現

- ◆ 戦略的なアセットアロケーションを実施することで早期に資本コストを上回るROEを実現し、PBR1倍以上を目指す
- ◆ 将来的に目指すROEの水準を10%とする



株主還元

- ◆ 健全な財務基盤を維持しながら成長に向けた投資を行い、安定配当の継続と配当性向40%を目標に、株主還元の充実に努める方針

還元方針

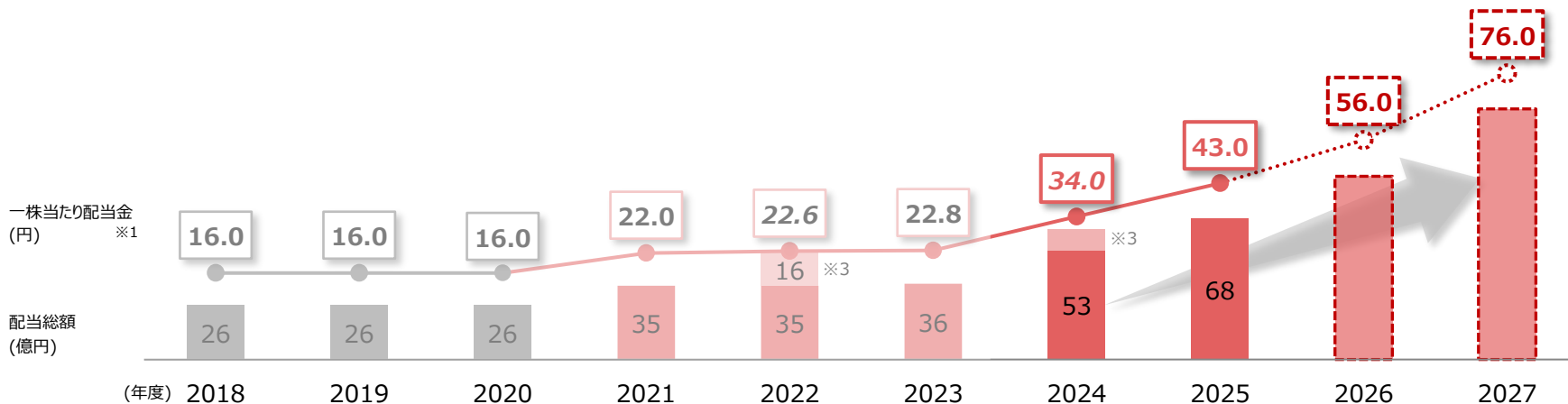
- ✓ 安定配当を維持しつつ、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向40%を目指す
- ✓ 自己株式取得については機動的に実施する

安定的な配当の継続

安定配当80円を維持しつつ、
配当性向30%を目安

安定配当を維持しつつ、
配当性向40%を目指す

(当期純利益300億円の場合)



配当性向

23% 82% 24% 30% 76% 30%

40%

※1 2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
一株当たり配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております

※2 配当性向は小数点以下四捨五入

※3 自己株式取得総額

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意下さい。

【本件に関するご照会先】

株式会社南都銀行 経営企画部

TEL 0742-27-1552

FAX 0742-36-3701

E-mail ir-souki@nantobank.co.jp

URL <https://www.nantobank.co.jp/>